

「船舶の離着岸時の操縦運動を予測するための数学モデル及びその 簡易構築手法の調査研究に関する講演会」開催のお知らせ

日本船舶海洋工学会のプロジェクト研究委員会「離着岸操船時の操縦流体力特性の簡易推定手法に関する調査研究委員会」（委員長 海上技術安全研究所 北川泰士）では、船舶の自動離着岸技術の研究開発に資することを目標に据えて、MMG モデルを用いた操縦運動シミュレーションを前提とし、(1) 離着岸時操縦運動を再現できる低速モデルの調査、(2) 船型主要目等の少数の情報からモデル係数を推定できる手法の調査、(3) 調査を踏まえた課題抽出、を目的に活動を行ってきました。

今回、これら調査活動の報告の講演会を、オンライン方式と対面方式のハイブリッドで下記の通りに開催いたします。講演内容は、自動離着岸における数学モデル適用事例、低速時 Hull モデル、アクチュエータモデル、自由航走データからのモデル同定、等を予定しております。講演の最後には今後の展望に焦点を当てたパネルディスカッションも予定しています。多数の皆様のご参加をお待ちしております。

なお、当講演会は、国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所 海上技術安全研究所との共催で実施し、下記の参加申し込み要領は海上技術安全研究所のホームページ記載の内容と同じです。

記

日時：令和5年3月15日（水） 13:00～17:00（開場 12:40）

場所：海上技術安全研究所（対面及びオンライン開催）

- ・対面会場：海上技術安全研究所 本館 講堂（参加者上限：40名程度）

[アクセスマップ](#)

[構内配置図](#)

（社会情勢に応じてオンライン開催のみに変更する可能性があります）

- ・オンライン：参加者の方にリンクをお知らせ致します。

参加費：無料（完全予約制）

申込期限：令和5年3月13日（月）

定員に達した場合は、申込みを締め切らせて頂く場合があります、ご了承ください。

お申し込み先：

- 現地参加の方（上限40名程度）：

氏名・所属機関・連絡用メールアドレスを本文に記載し、電子メールにて以下のメー

メールアドレスまで申し込みください。メールの件名は「3月15日講演会申し込み」として
ください。

宛先： m-itoh[at]m.mpat.go.jp

* [at]は@に置き換えてください。

○オンライン参加の方：

下記 URL の Zoom Webinar の事前登録サイトからお申し込みください。

https://zoom.us/webinar/register/WN_Ky1pncuIQemow5udDZNGng

ご記入いただいた個人情報は、本講演会のご連絡やご案内の目的にのみ利用いたします。

お問い合わせ先：

海上技術安全研究所 流体性能評価系 北川泰士 (kitagawa[at]m.mpat.go.jp)

■講演プログラム (2/28 暫定版、敬称略)

※講演開始時刻は目安です。各講演時間は質疑応答も含みます。

※発表者は変更の可能性があります。

13:00～13:10 開会挨拶及び委員会概要説明

海上技術安全研究所 北川 泰士

13:10～13:30 自動離着棧のためのモデル適用事例

講演者：海上技術安全研究所 澤田 涼平

13:30～13:50 低速時 Hull モデルの調査結果

講演者：川崎重工業 中村 真也

13:50～14:10 浅水域影響の調査結果

講演者：九州大学 古川 芳孝

14:10～14:25 Propeller モデルの調査結果

講演者：海上技術安全研究所 北川 泰士

14:25～14:40 Rudder モデルの調査結果

講演者：広島大学 佐野 将昭

14:40～14:50 ～休憩～

14:50~15:05 サイドスラスターモデルの調査結果

講演者：ナカシマプロペラ 岡田 雄大

15:05~15:25 自由航走データからのモデル同定に関する調査結果

講演者：大阪大学 牧 敦生

15:25~15:45 船外機付き船に関する研究事例紹介

講演者：大阪公立大学 片山 徹

15:45~16:05 プロペラ逆転時モデルに関する研究事例紹介

講演者：海上技術安全研究所 北川 泰士

16:05~16:15 ~休憩&パネルディスカッション準備~

16:15~ パネルディスカッション

(1)MMG モデルの離着棧操縦運動適用に関する検討課題

講演者：三井造船昭島研究所 岸本 隆

(2)討論 “離着棧操縦運動シミュレーションモデルの研究の今後“

17:00 終了